

Japan Geoscience Union Meeting 2011

(May 22-27 2011 at Makuhari, Chiba, Japan)

©2011. Japan Geoscience Union. All Rights Reserved.



HRE032-03

会場:203

時間:5月22日 17:00-17:15

ラオス山地部の土地・森林資源利用の変化 Changes in Land and Forest Resource Uses of Rural Laos

横山 智^{1*}

Satoshi Yokoyama^{1*}

¹ 名古屋大学大学院環境学研究科

¹ Nagoya University

東南アジア大陸部ラオスの農山村の住民は、食料、材料、現金収入源となる生物資源など、多くの生活必需物資を自然から得ている。何世紀もの間、ラオスの人びとは自然とうまく付き合いながら生活してきた。しかし、20世紀末から急速に進んだグローバル化と社会主義国の経済改革の波にラオスも巻き込まれることになった。市場経済化によって海外直接投資が促進され、

急激に森林が開発されはじめた。その一方で、世界的な環境保護の気運によってラオスにも生物多様性保護区が誕生し、また焼畑農業を制限する森林法や土地法などが制定され、農山村住民の森林利用は制限されるようになった。ラオスが経験している自然と人間活動との関係性の変化に、途上国の環境問題の縮図を見ることができる。

本発表では、ラオスの人びとの多様な自然資源利用の実態について明らかにすることに加え、土地・資源利用に関する問題が発生するメカニズムを、政治生態学的な視点から論じる。

キーワード: 土地利用, 森林資源利用, 政治生態学, ラオス

Keywords: land use, forest resource use, political ecology, laos